

十一時歸宿し、正午より中央情勢の報告會を開催し従業員を激勵せり。

2、職工總代全員會議

二月四日夜大谷會館に於て開催次の事項を協議す。

イ、一千名を限度とする団体上京旅行をなすこと

ロ、舊勞大黨の策動に對しては之を默殺すること

ハ、各工場毎に統制委員若干名を選出せしめ二月八日中央

統制委員會を召集すること

ニ、會計報告

收入一、三九一圓 支出一、〇一六圓九二 殘三七四圓

3、製鐵官民合同反對同盟會設置

従業員の反對熱漸次激化して行つた爲從來の職工總代全体會議等では其の統制不可能となつたので、各工場別に

若干名の統制委員を選出せしめ二月八日中央統制委員會を開催約六五〇余名出席左の事項を決定す。

イ、全従業員の反對運動闘争主体として製鐵官民合同反對同盟會を設く。

ロ、役員の決定（選任された役員十五名中最高幹部は左の通）

中央統制委員長（鐵聯副會長）橫 大路 茂

副委員長（同志會）幸 義 知

同（鐵聯）宮 原 琢 磨

ハ、運動資金醸出の件

各自二十錢以上日給に應じて醸出すること

ニ、従業員大會開催の件

ホ、上京委員激勵電報の發送